

いるま

No.192

令和2年9月
定例会号
2020年11月1日発行

市議会

だより

9月定例会

条例など34議案等を審議	2P
第1回臨時会	2P
定例会議決結果	3P
クローズアップ討論	4.5P
14名が一般質問	6P
市民の声	16P



第3回定例会

34議案等を審議

- 条例4件 ■請願1件 ■一般議案8件
- 補正予算9件 ■議員提出議案1件
- 令和元年度年決算認定及び関連議案11件

条例

廃止例	議案第86号	入間市勤労福祉センター設置及び管理条例を廃止する条例
一部改正例	議案第87号	入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部を改正する条例
	議案第88号	入間市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第89号	入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例 学童保育室の開室時間について、現在の時間の午後6時から午後6時30分に30分延長し、さらに学校休業日に延長時間を設け、最大で午前7時30分から午後7時までの利用が可能とするものです。また、学童保育室保育料について、学校休業日加算額、延長時間加算額を追加するとともに、条文を整備するために条例を改正するものです。

※色の付いた議案は賛否が分かれた議案となります。

第1回臨時会

令和2年7月29日に令和2年第1回臨時会を開催しました。

1議案を審議

■補正予算1件

今回の補正予算は、歳入においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助金の増が主なものです。

歳出については、情報機器整備事業、在宅勤務支援事業、学校感染症対策事業の増が主なものです。

全会一致議案【市長提出議案】

議案第85号	令和2年度入間市一般会計補正予算（第5号）
--------	-----------------------

令和2年9月定例会（第3回定例会）議決結果

賛否が分かれた議案等

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員、退は退席の議員

議案等番号	議案等の件名	自由民主党入間市議団										公明党入間市議団			日本共産党入間市議団		民進の会		賛成	反対	議決結果等				
		横田淳一	金子俊雄	宮岡治郎	平山五郎	小島清人	紺野博哉	鈴木洋明	松本義明	内村忠久	古仲リカ	長谷川渉	金澤秀信	永澤美恵子	向口文恵	末次正	安道佳子	小出亘				佐藤匡	坂本優子	細田智也	野口哲次
市長提出議案	86 入間市勤労福祉センター設置及び管理条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	17	3	原案可決
	97 令和2年度入間市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	17	3	原案可決

全会一致の議案等

議案等番号	議案等の件名
市長提出議案	87 入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部を改正する条例
	88 入間市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	89 入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例
	90 市道路線の廃止について（市道A103号線）
	91 市道路線の認定について（市道A103号線）
	92 市道路線の廃止について（市道C1087号線）
	93 市道路線の廃止について（市道G196号線ほか1路線）
	94 市道路線の廃止について（市道G484号線）
	95 市道路線の認定について（市道G484号線）
	96 財産の取得について
	98 令和2年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	99 令和2年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	100 令和2年度入間市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	101 令和2年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	102 令和2年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	103 令和2年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	104 令和2年度入間市水道事業会計補正予算（第1号）
	105 令和2年度入間市下水道事業会計補正予算（第1号）
	117 財産の取得について

■令和元年度決算認定および関連議案は、閉会中の継続審査として、9人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

議会人事

決算特別委員会

◎宮岡 治郎 ○古仲 リカ 佐藤 匡 末次 正 向口 文恵 長谷川 渉
 内村 忠久 松本 義明 坂本 優子

◎は委員長 ○は副委員長

議案第86号

入間市勤労福祉センター設置
及び管理条例を廃止する条例

入間市勤労福祉センターは、昭和62年に開設され、勤労者の文化教養活動の場として市民の方々、事業所の方々に利用されてきましたが、平成31年3月策定の「入間市公共施設マネジメント事業計画」において令和2年度末で機能を廃止するとの方向性が示されました。これは、現状のセンターの利用状況や果たしている機能と、今後施設の老朽化に伴い生じる維持管理のための経費を勘案し判断したものです。以上のことから、令和3年3月31日をもってセンターを廃止するものです。



賛成
10名

自由民主党
入間市議団
※議決権は除く

入間市勤労福祉センターは、昭和62年に勤労者の文化・教養活動の推進及び市民福祉の増進を図ることを目的に設置された。

しかし、近年、人口減少及び少子高齢化社会により、公共施設の機能や役割の見直しが求められている。今回の廃止は、公共

施設マネジメント事業計画に基づくものであると認識し、現在の稼働率、施設機能と将来的な財政負担を勘案すると理解できる。

このため、実現可能な手順を踏んで確実に事業を進めるとともに、利用者について、誠意をもった対応を要望し、賛成する。

賛成
4名

公明党
入間市議団

公共施設マネジメント事業計画に従い、当施設の稼働率の低さや収支の乖離^{かいり}、維持管理費を勘案すると廃止は止むを得ない。従来利用してきた地元自治会に、公民館や老人憩いの家の共同利用などの代替施設紹介の丁寧な対応を評価。今後の当施設の跡

地の活用・売却にあたり、近隣自治会との賃貸契約中の土地、シルバー人材センターが利用中の駐車場や近隣住民の通路の確保などを要望。また解体費用や諸経費等をよく勘案し、施設を解体せず現状のままの売却手法の検討を要望し賛成。

反対
3名

日本共産党
入間市議団

入間市勤労福祉センターの廃止は、勤労者や近隣住民、市民の生きがいづくり・仲間づくり等、様々な活動の場を失うことになり、その影響は大変大きい。近隣住民や勤労者、各団体との合意形成が必要である。コロナ禍で、感染拡大の観点から、新しい

生活様式が求められる現在、このような施設は確保されるべきであり、施設の廃止は一旦停止し、今ある施設の有効活用を図ることが住民福祉の向上に資すると考える。

よって、入間市勤労福祉センターを廃止する条例には賛成できない。



入間市勤労福祉センター

議案第97号

令和2年度入間市一般会計
補正予算(第6号)

歳入においては、前年度繰越金の増、個人市民税所得割、財政調整基金繰入金の減が主なものです。

歳出については、生活困窮者自立支援事業、ごみ運搬処分事業費の増、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業見直し等による減が主なものです。



賛成
10名

自由民主党
入間市議団

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業見直し等による事業の中止などの経費の減額及び決算確定、交付金等の確定による増減の補正計上を中心とし、妥当な予算措置であると判断する。また、債務負担行為の学童保育事業は、令和3年4月から

2か所の学童保育室を委託するに当たって、円滑に移行するために必要な予算措置と認める。市役所整備(PFIアドバイザー^{*})事業は、新庁舎整備を効率的かつ効果的に推進し、市民サービスの向上が図られる取り組みとするよう要望する。

賛成
4名

公明党
入間市議団

コロナ禍の影響による市税減収で市民サービスに影響の少ない事業の削減・見直しは評価。債務負担行為のうち①市役所整備(PFIアドバイザー)事業は、PFI手法導入の議論を深め将来を見据えた最善の決定を期待する。中途解約可能な契約を要望。②

来年4月より学童保育室を一部民間に委託する事業は、現行の支援員等に週休2日制などの労働条件の改善や、民間の専門的知識の導入など今後の学童保育事業の充実が期待できる。保護者への丁寧な説明を要望。2件の民間活力導入に期待し、賛成する。

反対
3名

日本共産党
入間市議団

債務負担行為2件について反対。①市役所整備(PFIアドバイザー)事業3千850万円の債務負担行為。契約を結ぶ前にPFI事業について市民に説明し、疑問に答えるべき。財政効果の根拠が曖昧で問題の多いPFI導入ありきの拙速な進め方は、市民参加のまち

づくりに反する。②学童保育事業2千769万円の債務負担行為。学童保育事業を民間に委託し慢性的な人員不足の解消を図っているが、民間なら人員が確保できるのか疑問。学童保育は児童福祉法に基づいて自治体が責任を持って運営すべき。

賛成
1名

市民フォーラム

市役所整備(PFIアドバイザー)事業への債務負担行為は、令和2年度の契約、令和3年度の特定期間の評価、令和4年度のPFI事業者選定をするためのもの。市役所整備をPFIで行うかどうかの評価を完結させる点において賛成する。

今後、コスト削減というVFM^{*}を慎重に確認するとともに、デメリットについても検討し、多面的な比較衡量^{こうりょう}をする必要がある。PFIを是と判断した場合でも、決定前に市民に丁寧に説明し意見を聞かなければならない。そのための十分な期間も必要である。

※ PFIとは民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法です。あくまで地方公共団体が発注者となり、公共事業として行うものです。

※ VFMとはお金=税金に対する使用価値を最も高めようという考えです。

一般質問

9月定例会の一般質問は、質問者14名により9月15日・16日・17日の3日間行われました。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約したものです。

ページ	質問項目	質問要旨	議員名
7	福祉・教育	発達障害児支援について	野口哲次議員
	財政・行政改革	歳入見込みと行政改革	
	公共施設マネジメント	入間市庁舎等整備に伴う公共空間の価値向上に関する官民連携調査報告書における付帯事業について	
7	業務改善	行政業務のデジタル化を加速し、市民サービスの向上と業務の効率化を	末次 正議員
	公共施設マネジメント	土砂災害のおそれがある区域の詳細な検証で公共施設マネジメント事業計画の精度向上を	
8	福祉行政	支援が必要な高齢者世帯について	古仲リカ議員
	子育て支援	保育施設利用申込み審査で兄弟姉妹が同じ施設へ入れるように配慮を	
	基地対策	旧東町側留保地整備について	
8	防災行政	緊急地震速報の情報整備について	内村忠久議員
	まちづくり行政	入間市自転車活用推進計画の策定について	
	人口減少対策	入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括とこれからの取り組み	
9	新型コロナ対策	コロナ禍における入間万燈まつり、いるま「太鼓」セッションの対応は	坂本優子議員
9	教育行政	1、子どもたちの学び、心身のケア、安全を保障するために少人数学級の実現を 2、学校の特別教室・体育館へのエアコン設置を	小出 亘議員
	道路行政	仏子やかん坂歩道拡幅の見込み	
10	環境行政	プラスチックの賢い利用方法の促進を	永澤美恵子議員
	健診事業	乳児の9～10か月児健診の導入を	
	教育行政	小中学生の携帯電話の情報モラル教育の徹底を	
10	公共施設マネジメント	市庁舎建て替えは中止し、耐震化等で経費を縮小しコロナ対策・くらし応援の市政へ	安道佳子議員
	国保行政	コロナ禍、国保世帯への支援拡充で医療を守れ	
11	健康行政	子宮頸がん予防ワクチンの正しい情報を提供し、接種を判断する環境づくりについて	向口文恵議員
	市民サービス	政府の自治体向け支援システムの活用で、「おくやみ窓口」導入の加速を	
	高齢者福祉	ひとり暮らしの高齢者等への安心確保のために、緊急通報システムの機能強化について	
11	福祉行政	1. 児童発達支援センターについて	松本義明議員
		2. 医療的ケア児等コーディネーターについて	
		3. 地域生活支援拠点の整備について	
		4. 職員採用における社会福祉士について	
		5. 市政運営における福祉行政の在り方について	
12	政治姿勢	コロナ禍の中、影響の大きい消費税の減税を	佐藤 匡議員
	基地対策	1 入間基地のパトリオット配備による入間市への影響 2 横田基地へのオスプレイ配備による入間市への影響	
	平和政策	入間市平和都市宣言	
	公共施設マネジメント	狭山小と宮寺小の統廃合は中止に	
12	人権	新型コロナウイルス感染症と人権配慮	細田智也議員
	教育行政	市内中学校の校則（生徒心得）について	
	人事	市職員の勤務時間管理の体制について	
13	PTA 活動	小中学校のPTA・後援会活動について	金澤秀信議員
	教育行政	小中学校にエアコンの追加導入を	
	豪雨対策	冠水する道路の側溝に、落ち葉目詰まり防止型の金属製格子蓋（グレーチング）の活用を	
	コロナ禍と高齢者支援	高齢者インフルエンザ予防接種の積極的勧奨を	
13	交通行政	入間市内の鉄道事情について	宮岡治郎議員
	福祉行政	駅のホームの、視覚障害者用の『内方線付き点状ブロック』について	
	文化行政	新たに市指定有形文化財となった『石川組製糸関係資料』について	



市役所整備 民間貸付の付帯事業

野口 哲次 議員

質問 市役所整備に関する官民連携可能性の報告書に、付帯事業として市役所AB棟跡地の貸付による民間収益施設建設が記載されている。賃料を得るとともに、賑わいの創出と交流人口の増加が期待できるとしている。

しかし、民間による収益事業では、特定の方が対象となる。建て替える市役所AB棟は現状より狭く市民のオープンスペースは期待できない。民間貸付という付帯事業では、市民に親しまれる開放された施設にするという基本方針にそぐわないのでは。

総務部長 市民の方が気軽に利用できるオープンスペースの配置についても民間企業との対話を通じて検討する。

質問 民間事業者が、自らの収益施設に

どれだけのオープンスペースが割けるのが疑問。付帯事業を実施するなら、市が管理するオープンスペースや会議室さらには子育て広場等の公の施設と民間の収益施設との複合施設にすべきでは。

総務部長 民間の収益施設のみ検討する。

質問 市役所敷地という大事な公共用地を民間に貸し付ける際には、市民に説明し是非を問う必要があるのでは。

総務部長 是非を問うことはない。事業内容が固まった時点で、市民に説明する。



整備計画の検討が進む市役所



デジタル化で行政業務 の効率化を

末次 正 議員

質問 昨年12月議会で提案した人工知能(AI)と定型業務自動化(RPA)の検討は。

企画部長 AIは会議録支援、RPAは人事課業務等で検証を実施。

質問 マイナンバーカードは、申請者数が増加傾向にある。交付窓口の状況は。

市民生活部長 窓口を2倍にして対応中。

質問 交付窓口を増やす考えはあるか。

企画部長 申請者数の増加状況を注視。

質問 2021年3月からカードが健康保険証として使える。利用者のメリットは。

健康推進部長 健康保険に関する情報がオンラインで確認可能。高齢受給者証や限度額認定証の提示が不要等のメリット。

質問 カードの保険証利用はカード普及の好機。広く周知を図るべき。見解は。

企画部長 広報いるま、放送媒体を活用。

質問 西武中第2グラウンドは、机上調査のみで土砂災害警戒区域の指定から外れた。2巡目の調査で現地調査を行うべき。

危機管理監 調査の可否は埼玉県が判断。

質問 精度の低い調査結果を基に、西武中を西武地区の中学校としてよいのか。グラウンドを防護する補強土壁等の対策を講じるべき。

総務部長 現地の土砂災害リスクは極めて低く、安全対策は十分と認識する。



西武中学校第2グラウンド南西に迫る加治丘陵



高齢者・保育施設 旧東町側留保地

古仲 リカ 議員

質問 年々高齢化が進み高齢者が増加 (1) 高齢者世帯の把握方法 (2) 支援体制 (3) 緊急時の支援 (4) 外国籍の方の支援について伺う。

福祉部長 (1) 毎年1月を基準に民生委員・児童委員が高齢者実態調査を実施 (2) 「元気であるネット」「見守りボランティア事業」「地域ささえあい組織」等と連携支援。(3) 緊急通報システム事業を実施 (4) 市民であれば国籍に関係なく支援サービス利用可能。

質問 保育施設の利用審査で兄弟姉妹が同じ施設へ入れるよう配慮を。

子ども支援部長 現行は6点加算。担当も全て入所できるよう公平性を確保しつつ調整、しかし難しい状況である事を理解して欲しい。まず待機児童解消を検討したい。

質問 自衛隊病院と陸上競技場等の進捗

状況、今後のスケジュールについて伺う。

企画部長 自衛隊病院の施設概要は、平成30年度から病院棟と隊舎棟の建築工事開始、令和元年度中に教育棟の契約・工事着手予定。平成30年度から陸上競技場の整備工事開始、令和元年度から訓練場や駐車場、緑地帯の整備工事開始、今年度中にサッカー場兼ソフトボール場の契約・工事着手予定。令和3年度中の完成に向け順調に整備が進んでいると捉えている。なお、各施設の利用開始時期等は現時点では未定。



旧東町側留保地の整備経過の様子



自転車活用推進・ 人口減少対策

内村 忠久 議員

質問 自転車活用推進計画の必要性。

企画部長 自転車は手軽で利便性の高い用具であり、健康増進、観光振興、環境面でも効果が期待でき計画策定に向けて、必要性を含めて検討していきたい。

質問 自転車推進活用都市に向けた見解。

市長 一体的な方向性を持った活用に向け交通手段だけでなく、観光、健康、環境などの面での活用、課題対応を踏まえ自転車活用が、促進される取組みを検討する。

質問 総合戦略の現在までの進捗状況は。

企画部長 人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり活力ある社会維持のため、27年度から「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。取組みにあたり27年度に策定した人口シミュレーションでは令

和元人口は、423人のプラスになっている。

質問 実施に至らなかった施策、事業は。

企画部長 施策「出会いや結婚の希望をかなえる」事業については、実施に至ってない。試行錯誤を凶ってきたが、総合戦略事業として一体的な取組みに至らなかった。

質問 創生総合戦略の総括について。

市長 現時点の人口減少は抑制の効果を得ていると感じるが、将来の人口減少の加速化に向け、継続する必要性を強く感じる。

【その他】緊急地震速報の周知について。



ポタリングを楽しむ
「自転車散歩」



結婚の希望をかなえる
取り組み「令和婚」

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



コロナ禍でのイベント対策は

坂本 優子 議員

- **質問** 「入間万燈まつり」中止の経緯は。
- **市民生活部長** 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない事や練習・会合での「密」を誘発させることが課題であった。大規模イベントは集団感染を引き起こすリスクもあり、事務局から中止を提案。総合本部会議にはかった後、実行委員会にて6月中旬、賛成多数により中止が正式に決定。
- **質問** 「入間万燈まつり」は1年を通じ、準備を行う市民と行政の協働事業のシンボルである。代替イベントの実施方法は。
- **市民生活部長** 活気あふれたまちをとり戻すため、市民の皆様からまつりに関する写真・イラストなどを募集し、市役所1階市民ホール展示コーナーでの掲示を計画。
- **質問** 地域で個々に活動している太鼓団

体が一堂に会するいるま「太鼓」セッション2020の延期開催の実施方法は。

市民生活部長 日程は令和3年2月14日に決定。今回に限り、市民会館ホールで開催。新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、安全に実施するため、ガイドラインに基づき、参加団体・来場者への対策を講じ実施する。

質問 コロナ禍でのイベントの見解は。
市民生活部長 市民の文化やまちに閉塞感を与えないため「新しい生活様式」の実践と万全の対策、新しい取組みも実施する。



例年実施されている入間万燈まつり
いるま「太鼓」セッション



少人数学級・ 仏子やかん坂歩道

小出 亘 議員

- **質問** 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では「身体的距離はできるだけ2メートル、最低1メートルはあける」としている。しかし、学校では40人学級のため1メートルの距離は確保できていない状況である。「身体的距離確保」が必要ではないのか。
- **教育長** 廊下に2メートルの印をつけるなど、可能な限りソーシャルディスタンスの確保に努めている。
- **質問** 全国知事会・市長会・町村会は「少人数編成を可能とする教員の確保」を要望している。国も「骨太方針で少人数指導によるきめ細かな指導体制の計画的な整備を関係者間で検討する」としている。全国校長会、日本教育学会も少人数学級を求めている。今後、少人数学級が実現した場

合に対応するために、学校統廃合は一旦中止すべきではないか。

市長 統廃合は必要である。

質問 特別教室・体育館へのエアコン設置が必要では。

市長 必要と考える。先進地を調査する。

質問 文化創造アトリエから図書館西武分館へのやかん坂の北側には路側帯が全くなく歩行者・自転車は車道に出なくては通行できない。改善の見込みは。

都市整備部長 来年度中に改善したい。



歩道のない仏子やかん坂北側



プラスチックの賢い利用の促進を

永澤 美恵子 議員

- **質問** (1) プラスチックスマートフォーラムに参加後の取り組み状況。(2) 国のプラごみ一括回収方針への認識。(3) 市民の意識向上策として、プラごみ削減への取り組みを募集し、取り組み事例サイトへ掲載。市広報サイトへリンクして宣揚すべきでは。
- **環境経済部長** (1) 市が仲介し、市内業者がプラシエル素材の食器を開発。別の企業が購入しイベントで貸し出す仕組みを形成。(2) 資源循環が進み、最終処分場の延命にもつながるため財政負担を考慮し検討する。
- (3) 積極的に取り組んでいく。
- **質問** (1) 乳児の9～10か月健診は全国の約60%の自治体で実施。入間市では育児学級を実施しているが現状は。(2) 自我が目覚め、成長も個人差があるこの時期は養育者

のメンタルも心配される。9～10か月健診を導入し、乳児の健康はもとより、ネグレクトや虐待の事前防止につなげるべき。(3) まずは育児学級の対象者に個別通知を出し、参加しやすい環境を作るべきでは。

健康推進部長 (1) 年6回実施。参加率が28%と低い状況。(2) 導入は厳しいが、まずは育児学級の回数を増やし充実させていく。(3) 参加者の増加を目指し、実施していく。

【その他】携帯電話の中学校への持ち込みに対し、情報モラル教育の徹底を。



海洋汚染問題解決に全国的に取り組む
プラスチックスマートキャンペーン



庁舎整備は中止しコロナ対策を

安道 佳子 議員

- **質問** 広報で「市庁舎の耐震化はPFI手法を導入の方向」と公表。PFI手法や庁舎整備、駐車場の活用変更等市民に説明すべきでは。
- **市長** 報告書を受けPFIが有効と判断した。民間活力の取り入れ方、方向性が見えたときに市民に説明したい。
- **質問** 庁舎整備にPFI導入の自治体は少数。民間に自治体の役割を果たせるのか疑問。
- **市長** 民間の様々な手法を活用し市民サービスの向上を目指す。
- **質問** コロナ後の市財政の見通しは。
- **市長** 市民税・法人税・固定資産税共に大幅減収の見込み。各種交付金も減額が見込まれ、来年度以降の財政は厳しくなる。
- **質問** 庁舎整備は一旦中止し、コロナ対策や市民の暮らしに経費の投入を。

市長 今こそ、庁舎整備を進める必要がある。事業を見直す考えはない。

質問 国のコロナ対策で国保税の減免制度が開始された。制度の活用状況は。

市長 5月～8月の4か月で申請が148件、決定が122件で今後も続く。

質問 国保税の子どもの均等割を廃止して子育て支援を行うべきでは。

市長 均等割の廃止は考えていない。

質問 来年度、国保税の改定はあるのか。

市長 来年度、国保税は引き上げない。

	前年所得	割合
世帯の主たる生計維持者の前年の合計所得額	300万円以下	10/10
	400万円以下	8/10
	550万円以下	6/10
	750万円以下	4/10
	1,000万円以下	2/10

・世帯の主たる生計維持者の前年中の収入や所得が0円マイナスだった場合は、3割以上の減収があっても減免対象外となります。

国民健康保険税の減免制度について
(入間市ホームページより)

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



子宮頸がんワクチン おくやみ窓口

向口 文恵 議員

質問 子宮頸がんの予防にワクチンが有効で2013年から定期接種となったが、接種後に痛みを訴える方が相次ぎ積極的勧奨は中止となった。正しい情報提供で接種を判断する環境を整えるべき。①近年の接種率の推移②入間市の情報提供手法③個別通知への見解④高校1年女子へ個別情報提供を。

健康推進部長 ①27・28年度0%、29年度0.06%、30年度0.35%、元年度0.16%。②個別通知を控えホームページ等での周知。③厚労省で接種の情報提供資材の個別送付を行う方針が出されたことを受け検討する。④9月上旬に情報提供の通知を送付した。

質問 昨年9月議会で「おくやみ窓口」の設置を要望したが、ハンドブックの作成とその後の設置への検討状況は。

市民生活部長 プロジェクトチームを設置。手続きのご案内を見直しハンドブックを作成。9月中にホームページで公開。先進自治体を視察し支援システムと併せ検討。

質問 単身高齢者への安心確保のために、人感センサーや協力者の駆け付けなどで緊急通報システム（緊急時に発信機のボタンを押すと事業者に通報が入り急行してくれるシステム）の機能を強化すべき。

福祉部長 オプションのライブ監視機能をPRし、見守りボランティアの活用を検討。



三重県松阪市の「おくやみコーナー」
(三重県松阪市ホームページより)



医療的ケア児・ 今後の福祉行政

松本 義明 議員

質問 医療的ケア児等コーディネーターを本市でも配置した。医療的ケア児への支援を更に拡げるべきでは。

福祉部長 国の定義の医療的ケア児等に対して支援の充実を図る。動向を研究する。

質問 医療的ケア児等コーディネーターの役割は多岐にわたる。今後の事業展開は。

福祉部長 保健、医療、子育て、教育等の関係機関に存在や役割等の周知をする。

質問 田中市長は市民目線、現場の声を大切にして福祉行政を進めてこられた。これまでの福祉行政への取り組みと評価は。

市長 「元気な子どもが育つまち」の実現を図るため「こども支援部」の新設をはじめその時々ニーズに基づいた施策を展開してきた。市民福祉の向上が図れた。

質問 今後ますます福祉的課題が山積すると想定されるが、今後の市政運営における福祉行政の在り方は。

市長 公助では支援が行き届かない新たな課題に対応するには、自助に加え互助が必要である。住民自らが生活課題を把握し、連携して解決する「地域支え合い組織」の充実が一層重要になってくる。

【その他】児童発達支援センター・地域生活支援拠点の整備・職員採用における社会福祉士について質問した。



医療的ケア児等コーディネーター
(愛知県ホームページより)



暮らしを守るために 消費税減税を

佐藤 匡 議員

- **質問** 消費税減税に対する考えは。
- **市長** 消費税の引き下げは目の前の問題の解決方法としては有効かもしれないが課題も多い。引き下げ論も出てきており、今後の動向を注視していきたい。
- **質問** 海外において、パトリオット誤射などの重大事故が複数起きている。入間市上空は多くの航空機が飛行している。入間基地のパトリオット配備の撤回を。
- **市長** 配備は必要と認識している。事故防止を埼玉県基地対策協議会等を通じて、国や基地等に要請して行く。
- **質問** オスプレイの事故率は上昇しており、部品落下も相次いでいる。オスプレイ飛行の中止を求める。
- **市長** 人道支援、災害救援活動も担って

おり受け止めざるを得ない。安全確保の徹底等、日米合同委員会合意事項を遵守するよう国に強く求めていく。

質問 入間市平和都市宣言について。

市長 再び戦争という過ちを繰り返さないために宣言を堅持して行くことが重要。

質問 狭山小と宮寺小の統廃合において、児童が通学で国道16号を渡るのは危険。

市長 地域の方と意見交換している。少子化・施設の老朽化に対応するために両校の統合は計画通り進める。



コロナと人権配慮・ 校則について

細田 智也 議員

- **質問** 市民へ新型コロナウイルス感染症と人権についてどのように取り組んでいるか。
- **市民生活部長** 差別や偏見に対する人権配慮を促す取り組みとして「市公式ホームページ」のトップページの見出しから直接リンクして閲覧できるサイトや「広報いるま」を通して、市民への啓発を行っている。
- **質問** 公益財団法人人権教育啓発推進センターが行なっている「STOP! コロナ差別ー差別をなくし正しい理解をーキャンペーン」への参加の検討を。
- **市民生活部長** 「STOP! コロナ差別ー差別をなくし正しい理解をーキャンペーン」への参加、また、これに付随し動画配信等についても、あわせて検討する。

質問 校則は見直しを行っているのか。

教育長 生徒の実情、保護者の考え方、地域の状況、時代の進展を踏まえたものになっているか、「学校評価」等も活用しながら見直している。

質問 他の自治体で校則を公開し、地域に開かれたが、当市でもHP等で各中学校の校則の原則公開は。

教育長 学校の考え方等を公開し地域の方に理解してもらう事は大切。HP 公開を含め、運用や在り方について今後、研究する。



※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



落ち葉対策グレーチングの設置を

金澤 秀信 議員

質問 共働き世帯や母子家庭なども増加し働き方も変化している現在、全国や県内でもPTA・後援会活動のあり方が見直されている。①市の行事等へのPTA役員の参加割当の見直しを②PTAの通学路立哨の負担見直しのため、定員割れの交通指導員の募集に工夫を③PTAや後援会から学校への金品等(毎年1千万円超)の寄付の常態化の見直しを。

教育部長 ①負担軽減に努力③過去問題な寄付があった。学校側が負担すべき項目を年度内に洗い出し寄付のあり方を検討。

市長 ②ここ数年定員の6割と不足している、交通指導員の募集を強化する。

質問 近年ゲリラ豪雨等で市内の道路が多数冠水。流れてきた落ち葉がグレーチングの上に堆積し、雨水の吸い込みを邪魔し

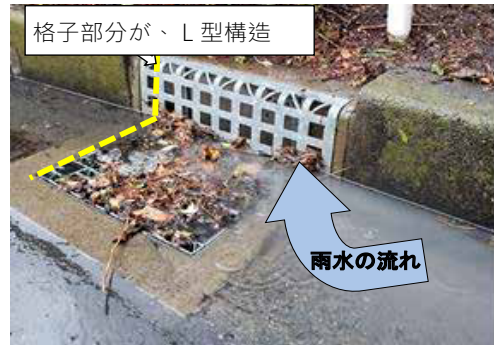
ていることが原因の一つ。最近開発された落ち葉目詰まり防止用グレーチングを私の提案で入間市駅南口駅前広場奥に3か所設置し効果を検証中。冠水場所に順次設置を。

都市整備部長 効果を検証し検討する。

質問 高齢者やご家族の安心を守るため、毎年接種率が4割の高齢者インフルエンザ予防接種の本人負担をゼロに。

市長 予算上、本人負担ゼロは困難。

【その他】 小中学校の特別教室・体育館・給食調理室にもエアコンの追加設置を提案。



入間市駅南口駅前広場で効果検証中の新型グレーチングは格子部分がL型構造



仏子駅・金子駅 石川組製系の資料

宮岡 治郎 議員

質問 市内の鉄道バリアフリー事情について。(1)地下鉄の次期新型車両はドアの床に配慮があるが、市内の西武線各駅への停車の開始時期は。(2)仏子駅北口の、改札口前と市道の段差解消を。(3)JR金子駅のホームでは、視覚障害者用の『内方線付き点状ブロック』は未設置だが、今後の展望は。

都市整備部長 (1)2021年度以降に順次導入が予測される。(2)最大で約5cmの段差が有る。鉄道側は雨水が駅構内へ流入しなければ問題は無いとの事。今後西武鉄道との協議を進め、早期の対応を図っていきたい。

福祉部長 (3)昨年度に入間市とJR東日本の協議を行った。今年度中に設置の夜間工事を実施するが、年内には終了する予定。

質問 新たに市指定有形文化財となった、

『石川組製系関係資料』について。土地台帳で、(1)総所有面積、(2)東町の現在の『ジョンソントウン』の敷地の履歴、は分かるか。(3)膨大な文書資料で、判明する事柄は。

教育部長 (1)最盛期の1922年が最大で、約107万㎡。(2)1918年以前に平地林として購入し、従業員の食糧生産のため開墾し『石川農園』と呼ばれたが、1937年に売却している。(3)生産日報では、各工場の経営状況が、食材購入費の記録では、例えば1938年にカレーが提供されていた事も読み取れる。



東側から見た、仏子駅北口改札口前。バリケードは駅構内に後退して立っている。

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（要旨）

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方税財源の確保を確実に実現されるよう、強く要望する。

請願

入間市におけるパートナーシップの認証制度（仮称）および性的少数者に関する諸問題への取組みに関する請願

平成27年に渋谷区で「同性パートナーシップ条例」が創設。その後、同性同士を含めたパートナーの認証制度が数多くの自治体でも創設。県内では、23市町議会で請願や陳情が採択されている。同性同士で生活する者も含め家族として扱う「パートナーシップの認証制度（仮称）」を早期に創設し、存在を公に認め、性的少数者にとっても住みやすい、魅力あるまちづくりを切望する。

審議の結果、全員一致で採択と決定した。

『新庁舎議会フロア検討チーム』が発足しました

新庁舎建設に際して、議会側の施設要望を提案・協議・決定し取りまとめるため、構成人員5名の新庁舎議会フロア検討チームが議会運営委員会内に設置されました。

設置目的は『市役所等整備計画』の推進に向けた取り組みとして、①議場・委員会室等の設置内容の調整、②議場の一般利用の可能性の検討です。市民に開かれた、市民のために最適な議会を目指しています。

具体的には、月1回の開催で議場、傍聴席、委員会室、全員協議会室、正副議長室、応接室、議員控室、更に付帯設備、事務室、倉庫、その他をチームで協議しています。

今後のチームの日程としては、令和2年12月中にすべて決定し、令和3年1月に、議会運営委員会等で協議の上、市議会としての要望書を、市長に提出する予定です。

財産の取得について

タブレット端末及び周辺機器

取得金額	773,474,122円
取得の相手方	株式会社NTTドコモ 埼玉支店

※小中学校の児童生徒用等のタブレット端末及び周辺機器等の取得



入間市議会傍聴（新型コロナウイルス感染症の対策）

議会で行われる本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。
市議会活動や市の施政方針などを実際に見聞することができます。

また、感染症の拡大を防止するため、傍聴される際は、次のことにご配慮をお願いいたします。

- ・発熱など風邪の症状がある方や体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。
- ・マスクの着用について、ご協力をお願いします。
- ・当日受付において検温を実施し、手指の消毒にご協力をお願いします。

皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



市役所に入り、西口エレベーターで5階まで上がります。



エレベーターを降りると、正面に傍聴受付があります。



傍聴申込票に必要事項を記入し、傍聴券と傍聴資料を受け取ってください。



手指の消毒



検温の実施



受付の左右にある傍聴者入口より入場してください。
扉を開放し常時換気



傍聴席は19席（車いす用傍聴席3席を含む）あります。



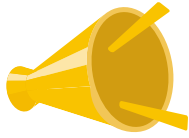
お帰りの際は、傍聴券を受付に返却してください。



間隔を空けた傍聴席



第二傍聴席（16席）の設置



入間市インタビュー 市民の声

interview 1

大好きな街！

春日町

中村 美幸 (飲食業)

私は小学4年生まで入間市で過ごしました。それまで在籍していた豊岡小学校はマンモス校で、途中で黒須小学校と分校になった程です。

その頃の入間市は田んぼが広がっており駅は二つのホームを線路の上を渡って往き来していました。

その後私は飯能、所沢、狭山と近郊に住んでおりましたが、終の棲家をどこで暮らすかを考えた時、都内に出るにも遠からず自然が豊かな入間市！そう思ってまた戻って来ました。

今は毎日愛犬との散歩で自然に触れています。緑も川もあって、白鷺、鴨、カワセミなど沢山の野鳥も見られます。

春は桜が至るところで咲き誇り、四季折々の風景が観られて住みやすい。

入間市はとても素敵で大好きな街です！

interview 2



テレワーク時代の街づくり

豊岡

村田 恭子

美しい自然があり、都心へのアクセスも良い入間市。

昨今のコロナ禍での外出自粛、在宅勤務などで家に居る時間が長かったこともあり、改めて自分が住んでいる街を見直すようになりました。

入間市では、小・中学校、公民館、保育所の統廃合や複合化の計画と市庁舎、市民会館の建替え等の計画もあると知りました。近い将来、オンライン学習やテレワークが一般的になると思われます。

新しい公共施設は、これからのテレワーク時代にふさわしい設備、例えば在宅勤務の人たちが自宅以外でも仕事ができる「サテライトスペース」を公共施設の中に設けるのも良いと思います。

これからも広く市民の声を聞いて頂きたい、そして、災害に強い街、市民が主役の街づくりをして頂きたいと願っています。



いるま市議会だより No.192

表紙 / 愛宕公園
撮影 / いるま写真ポスト提供 渡邊みか代さん
編集 / 議会広報委員会
◎向口 文恵 ○古仲 リカ
小出 亘 長谷川 涉
内村 忠久 細田 智也
小島 清人 野口 哲次
宮岡 治郎
発行 / 入間市議会
インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>

12月定例会日程案

- 12月 1日 (火) 開会
- 12月 7日 (月) 市長の所信表明に対する代表質疑
- 12月 8日 (火) 総括質疑
- 12月 9日 (水) 総務常任委員会
- 12月 10日 (木) 都市経済常任委員会
- 12月 11日 (金) 福祉教育常任委員会
- 12月 15日 (火) 一般質問
- 12月 16日 (水) 一般質問
- 12月 17日 (木) 一般質問
- 12月 23日 (水) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。



問い合わせ 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 (04)2964-1111(議会事務局 内線 5112・5113・5114)